

駅すぱあと[®]

イントラネット Ver. 2

インストールマニュアル
(Linux 版)

目次

インストールマニュアル

目次	2
ソフトウェア使用権許諾契約書（駅すぱあと）	3
1 商品構成	6
2 動作環境	7
3 全機能版・簡易版の機能比較表	8
4 インストール手順	9
a 初回インストール	9
< RPM 形式/ISO 形式でインストールする場合 >	9
< tar 形式でインストールする場合 >	10
b バージョンアップ時のインストール	12
< RPM 形式/ISO 形式でバージョンアップする場合 >	12
< tar 形式でバージョンアップする場合 >	13
c Web サーバーの実行環境の設定	14
d 「駅すぱあと」の起動と終了	15
e 「駅すぱあと」のアンインストール	15
f Web サーバーの実行環境の移行	16
5 管理画面について	18
6 Cookie を利用しない場合について	19
7 サポートについて	20

ソフトウェア使用権許諾契約書（駅すばあと）

株式会社ヴァル研究所（以下、「弊社」といいます）は、本契約書とともにご提供するソフトウェア・プログラム及び付随ドキュメントを使用する権利を本契約書の条項に基づき許諾し、お客様も本契約書にご同意いただくものとします。

1. 定義

- (1) 「本件ソフトウェア」とは、弊社がご提供する『駅すばあと』製品をいうものとします。
- (2) 「ライセンス契約製品」とは、本件ソフトウェアのうち、「駅すばあと ライセンスパック」及び「駅すばあと SDK」をいうものとします。
- (3) 「ネットワーク製品」とは、本件ソフトウェアのうち、「駅すばあと イン트라ネット」、「駅すばあと ネットワーク」及び「駅すばあと ネットワーク SDK」をいうものとします。
- (4) 「お客様」とは、本契約の当事者のみをいい、グループ会社（官公庁の場合は、出先機関・関連団体をいい、以下同じとします）は含まないものとします。
なお、別途弊社と特約を結ぶことにより、グループ会社を含めて使用することができます。
- (5) 「収録データ」とは、本件ソフトウェアに含まれる駅名・バス停名・運賃・時刻表等の情報をいうものとします。
- (6) 「生成物」とは、本件ソフトウェアのプログラムによって出力された経路探索結果等の情報や設定情報等のファイルをいうものとします。
- (7) 「関連ソフトウェア」とは、本件ソフトウェアの使用権許諾に付随して、弊社がお客様に提供したソフトウェアをいうものとします。

2. 著作権

本件ソフトウェアの著作権は弊社が所有しています。

3. 使用権の期限

本契約における使用権はお客様が本件ソフトウェアを受領し、本契約に同意した日より発生します。お客様が弊社に対し書面通知を出したとき又はお客様が本契約のいずれかの条項に違反したとき、弊社はお客様の使用権を終了させることができます。なお、使用権が終了しても代金は返却いたしません。

4. 使用権の範囲

- (1) 弊社は本件ソフトウェアを限定された1台のコンピュータで使用する権利をお客様に対してのみ許諾します。ただし、(2) 項及び(3) 項に定める場合は除きます。
- (2) ライセンス契約製品については、弊社は契約ライセンス数を上限とする台数のコンピュータで使用する権利をお客様に対してのみ許諾します。
- (3) ネットワーク製品については、弊社は限定された1台のサーバで使用する権利をお客様に対してのみ許諾します。又、当該サーバへの同時アクセス数は、契約ユーザー数を上限とします。
なお、複数の OS を起動させ、それぞれにおいて本件ソフトウェアを使用する場合には、使用する OS 分の使用権が必要となります。
- (4) 本件ソフトウェアの使用はお客様のみの使用に限定されるものであり、本件ソフトウェアの商業的二次利用・転売は一切禁止されます。
- (5) 本件ソフトウェアの第三者への譲渡・貸与は許諾しないものとします。
- (6) 他者（グループ会社を含みます）のために、本件ソフトウェアを使用する業務等を反復継続的に行う場合には、別途弊社と特約を結ぶことにより実施できるものとします。

- (7) 収録データについては、旅行経路の検討・共有・記録等、通常必要と認められる範囲で お客様は使用することができるものとし、データベース等の集合物、又は当該集合物を二次利用したコンテンツ等として、公衆送信・頒布・譲渡・貸与することは禁止されます。

5. 複製・解析・改変等

- (1) 使用権の範囲を超える本件ソフトウェアの複製（インストールを含みます）は、私的使用目的や情報解析目的であっても、できないものとします。
- (2) 本件ソフトウェア（収録データを含みます）の改変・解析・リバースエンジニアリングは、マニュアルに規定してある場合を除いて、全体的又は部分的であるかを問わず、一切できないものとします。
- (3) 前二項の他、弊社の権利を侵害し又はそのおそれがある一切の行為をすることはできないものとします。

6. ユーザーサポート

- (1) お客様は、本件ソフトウェアのユーザー登録手続きを行うことにより、本件ソフトウェアの機能・操作に関するユーザーサポートを受けることができます。
- (2) ユーザーサポートの範囲は、本件ソフトウェアの機能・操作面に限ります。本件ソフトウェア使用上の問題は、ハードウェア本体や周辺機器、OS、LAN 環境等、その原因は多岐にわたります。システム管理者等がいる場合には、予めご相談のうえ、本件ソフトウェアに関する問題のみ弊社にご連絡ください。
- (3) ユーザーサポートは、日本国内かつ日本語に限るものとします。
- (4) 弊社は、書面での事前通告により、ユーザーサポートを終了できるものとします。

7. バージョンアップサポート

- (1) お客様は、所定のお申込により、有償のバージョンアップサポートを受けることができます。
- (2) バージョンアップサポートをご利用のお客様は、契約期間中、製品及び契約形態に応じて、CD-ROM 送付（年間サポート契約の場合は、年 6 回もしくは年最大 12 回）、又は、オンラインでのバージョンアップをご利用いただけます。
- (3) バージョンアップサポートを契約期間中に中途解約された場合でも、返金はいりません。
- (4) バージョンアップサポートを利用している又は利用していたお客様が、万が一、使用権の範囲を超えるインストールを行う等の不正をした場合、弊社への損害賠償金は、複製権侵害等による損害額に、超過インストール数等に利用期間分のバージョンアップサポート料金を乗じた額を加算するものとします。なお、損害賠償金の支払いをもって、刑事責任を免れるものではありません。

8. 情報の正確性

本件ソフトウェアの内容には万全を期していますが、収録データ又は生成物に全く誤りがないことを弊社は保証するものではありません。
正確な情報は、鉄道・路線バス等の各交通事業者にご確認下さい。

9. 弊社の免責

本件ソフトウェア又は関連ソフトウェア、収録データもしくは生成物に起因して、お客様に直接又は間接的に損害が生じても、弊社は一切の責任を負いません。
又、機器や媒体に起因する損害 に対しても、弊社は一切の責任を負いません。
よって、弊社は本件ソフトウェアに関するいかなる保証も行いません。

10. その他

- (1) 本契約のいずれかの条項又はその一部が法律等により無効となった場合でも、他の部分は、なお効力を有するものとします。
- (2) 本契約は、本件ソフトウェアの使用地域にかかわらず、日本国の法律が適用されるものとします。又、本契約に定めのない事項については、著作権法等に準拠するものとします。
- (3) 本契約について紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

東京都杉並区高円寺北二丁目3番17号

株式会社 ヴァル研究所

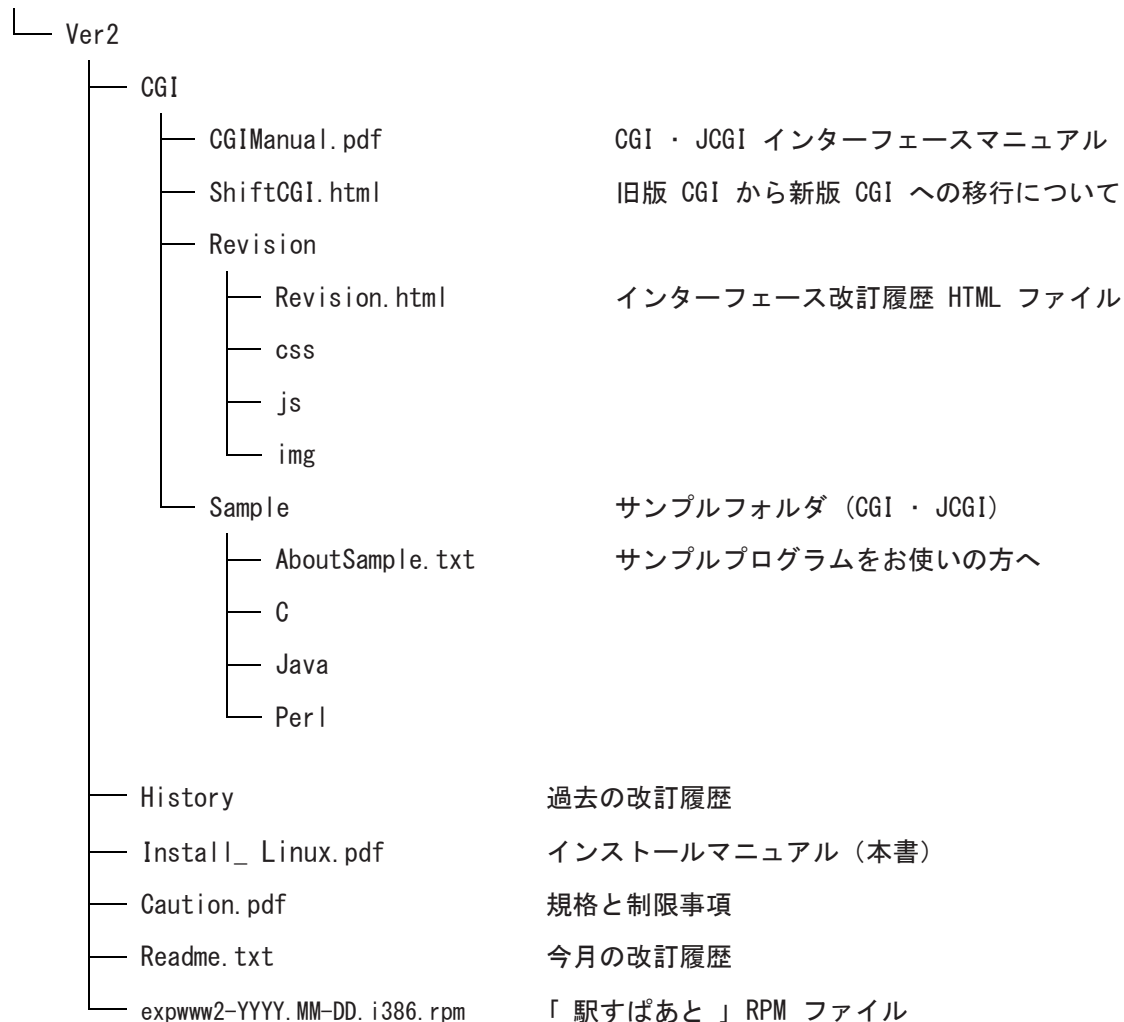
ソフトウェア使用権許諾契約書_駅すばあと（2015年12月改訂）

1 商品構成

「駅すばあとイントラネット Ver. 2」（以下「駅すばあと」と表記します）のファイル構成は以下の通りです。

<ファイル構成>

¥(CD-ROM、または ISO イメージ)



2 動作環境

サーバー環境 : Linux

OS	Red Hat Enterprise Linux Server 8.x Red Hat Enterprise Linux Server 9.x (すべて日本語版)
ハードディスク	3GB 以上の空き容量
メモリ	4GB 以上
Web サーバーソフトウェア	Apache 2.4 系以降 (HTTP、CGI をサポートしている必要があります)

クライアント環境

「規格と制限事項」 (Caution.pdf) の関連記述を参照してください

3 全機能版・簡易版の機能比較表

種類	機能	全機能版	簡易版
路線図	Ajax 路線図の表示	○	×
駅名入力	インクリメンタルサーチ	○	×
	路線図の駅名を選択	○	×
補助メニュー	路線から駅選択	○	○
	住所から駅選択	○	×
	ランドマーク選択	○	○
	乗り継ぎ駅選択	○	○
経路情報メニュー	印刷用画面表示	○	○
	運賃分割計算	○	○
	定期利用運賃計算	○	○
	定期払戻計算	○	○
	得トクきっぷ情報	○	×
	グリーン定期券料金	○	○
	Cookie 書き出し	○	×
	1 経路 CSV ファイル出力	○	×
区間情報メニュー	列車指定探索	○	○
	区間時刻表表示	○	○
	列車情報表示	○	×
	交通機関の運行情報表示	○	×
駅情報メニュー	出発 / 到着時刻探索	○	○
	駅情報表示	○	×
	出口案内表示	○	×
	福祉設備表示	○	×
	駅周辺図表示	○	×
	宿泊予約表示	○	×
	天気予報表示	○	×
	交通機関の駅情報表示	○	×
探索	通常探索	○	○
	途中下車探索	○	×

4 インストール手順

<インストールについて>

インストールを行う際は、以下にご注意ください。

- ※ リモート接続環境下でインストール作業を行ったことにより発生したトラブルについては、サポートしておりません。
- ※ 同一 OS 上に複数の「駅すばあと」をインストールした場合の動作については、サポートしておりません。
- ※ ファイルの実行時に表示される文字列は「EUC-JP」でエンコードされています。

a 初回インストール

「駅すばあと」(Linux 版)はRPM形式とtar形式でリリースしています。
RPM形式でインストールする場合、対応バージョンは4.0.0以降になります。
ダウンロードの場合は、ISOファイルを展開後、RPM形式ファイルでインストールして下さい。

- ※ tar形式の駅すばあとファイルはCD-ROMには同梱されておりません。
tar形式をご利用の際は、「駅すばあと サポート」
(<https://support.ekispert.jp>)の「更新・ダウンロード」から
ダウンロードの上ご利用ください。

< RPM形式/ISO形式でインストールする場合>

1. マウントポイントを作成してから、CD-ROMもしくはISOファイルをマウントします。

CD-ROMの場合

```
# mkdir -p /mnt/cdrom
# mount {CD-ROMのデバイス} /mnt/cdrom
```

ISOファイルの場合

```
# mkdir -p /mnt/cdrom
# mount {ISOファイルのファイルパス} /mnt/cdrom
```

2. 「駅すばあと」パッケージをインストールします。

```
# rpm -Uvh /mnt/cdrom/Ver2/expwww2-2012.6-1.i386.rpm
(2012年6月版の場合)
```

- ※ /usr/local/expwww2 にインストールされます。

インストール先を指定する場合は、以下のように指定します。

```
# rpm -Uvh --prefix=(インストール先)パッケージファイル名
```

<例: /home/intra/expwww2 にインストールする場合>

```
# rpm -Uvh --prefix=/home/intra/expwww2
/mnt/cdrom/Ver2/expwww2-2012.6-1.i386.rpm
```

- ※ ディストリビューションによっては、「--prefix」の指定が無視される場合がありますのでご注意ください。

3. 初期設定をします。

```
# /usr/sbin/exp-setup2
```

上記のコマンドを実行して、インストールするサーバーの IP アドレスもしくはサーバー名、エイリアス名、登録番号、CD キーを入力します。環境設定ファイルにその内容が反映されます。

※ インストール先のディレクトリに /usr/local/expwww2以外を指定した場合、引数にインストール先のパスを与えて実行してください。

<例> : /home/intra/expwww2 にインストールしている場合>

```
# /usr/sbin/exp-setup2 /home/intra/expwww2
```

※ 登録番号と CD キーが一致しないとインストールできません。
CD キーはバージョンごとに異なりますのでご注意ください。

4. CD-ROM もしくは ISO ファイルをアンマウントします。

```
# umount /mnt/cdrom
```

< tar 形式でインストールする場合 >

1. 「駅すばあと サポート」(<https://support.ekispert.jp>) の「更新・ダウンロード」から、「駅すばあとファイル」“ExpIUF062.tgz” (2012 年 6 月 2 版の場合) を、ローカルディスクの作業用ディレクトリ (以下、/tmp) にダウンロードしてください。
2. 「駅すばあとファイル」を解凍してください。
以前に同じ作業用ディレクトリで「駅すばあとファイル」を解凍している場合、先に全てのファイル、ディレクトリを削除してください。

```
# tar xvzf /tmp/ExpIUF062.tgz
```
3. 作業用ディレクトリ下のファイル “expwww2-20120602update.tgz” を解凍してください。

```
# tar xvzf /tmp/expwww2-20120602update.tgz
```
4. 作業用ディレクトリ下の /expwww2 ディレクトリを、「駅すばあと」をインストールするディレクトリに移動してください。

<例> /usr/local/expwww2 の場合>

```
# mv /tmp/expwww2 /usr/local/expwww2
```

5. セットアップファイルを実装します。設定コマンドファイルをコピーしてください。

```
# cp /tmp/expsetup2-20120602.tgz /usr/sbin
```
6. セットアップファイルを解凍します。

```
# tar xvzf /usr/sbin/expsetup2-20120602.tgz
```

7. アクセス権を設定します。

```
# chmod 755 /usr/sbin/exp-setup2  
# chmod 755 /usr/sbin/exp-backup2
```

8. 初期設定をします。

```
# /usr/sbin/exp-setup2
```

上記のコマンドを実行して、インストールしたサーバーの IP アドレスまたはサーバー名、エイリアス名、登録番号、CD キーを入力します。環境ファイルにその設定が反映されます。

※ インストール先のディレクトリに /usr/local/expwww2 以外を指定した場合、引数にインストール先のパスを与えて実行してください。

<例 : /home/intra/expwww2 にインストールしている場合>

```
# /usr/sbin/exp-setup2 /home/intra/expwww2
```

※ 登録番号と CD キーが一致しないとインストールできません。
CD キーはバージョンごとに異なりますのでご注意ください。

<イントラネット実行時に Apache でエラーが発生する場合>

イントラネットの実行環境に、次のライブラリがインストールされていることを確認して下さい。

- ・ libstdc++.so.6
- ・ libgcc_s.so.1
- ・ libpthread.so.0
- ・ libdl.so.2

下記のコマンド等で確認することができます。

```
# find /lib /usr/lib -name <ライブラリ名>
```

存在しないライブラリがある場合は、不足しているものをインストールして下さい。

<例>

```
# dnf install libstdc++.i686
```

※ 「libstdc++.so.6」が含まれるパッケージには、「compat-libstdc++-4.08.5-44.e17.i686」などがあります。

b バージョンアップ時のインストール

< RPM 形式/ISO 形式でバージョンアップする場合 >

1. Web サーバーソフトウェアのサービスを停止します。
2. マウントポイントを作成してから、CD-ROM もしくは ISO ファイルをマウントします。
CD-ROM の場合

```
# mkdir -p /mnt/cdrom  
# mount {CD-ROM のデバイス} /mnt/cdrom
```


ISO ファイルの場合

```
# mkdir -p /mnt/cdrom  
# mount {ISO ファイルのファイルパス} /mnt/cdrom
```
3. expv2.conf および user ディレクトリにあるファイルを /tmp/exptmp ディレクトリに退避します。

```
# /usr/sbin/exp-backup2
```

※ exp-backup2 を実行することで、expv2.conf と .htaccess、user ディレクトリにあるファイルを /tmp/exptmp ディレクトリに一時的に退避します。
OS の設定によっては、一定時間を経過すると /tmp ファイルが削除される場合がありますので、ご注意ください。

※ インストール先のディレクトリに /usr/local/expwww2 以外を指定した場合、引数にインストール先のパスを与えて実行してください。
<例 /home/intra/expwww2 にインストールしている場合>

```
# /usr/sbin/exp-backup2 /home/intra/expwww2
```
4. 「駅すばあと」パッケージをアンインストールします。

```
# rpm -e expwww2
```
5. 「a 初回インストール」 の
< RPM 形式でインストールする場合 > の 2. から 3. を実行してください。
6. CD-ROM もしくは ISO ファイルをアンマウントします。

```
# umount /mnt/cdrom
```
7. Web サーバーソフトウェアのサービスを起動します。

< tar 形式でバージョンアップする場合 >

1. Web サーバーソフトウェアのサービスを停止します。
2. 「駅すばあと サポート」(<https://support.ekispert.jp>) の「更新・ダウンロード」から、「駅すばあとファイル」"ExpIUF62.tgz"(2012 年 6 月 2 版の場合) を、ローカルディスクの作業用ディレクトリ(以下、/tmp) にダウンロードしてください。
3. 「駅すばあとファイル」を解凍してください。
以前に同じ作業用ディレクトリで「駅すばあとファイル」を解凍している場合、先に全てのファイル、ディレクトリを削除してください。

```
# tar xvfz /tmp/ExpIUF62.tgz
```
4. 作業用ディレクトリ下のファイル "ExpIUF62"(2012 年 6 月 2 版の場合) を実行してください。

```
# /tmp/ExpIUF62
```

※ インストール先のディレクトリに /usr/local/expwww2 以外を指定した場合、引数にインストール先のパスを与えて実行してください。

<例 /home/intra/expwww2 にインストールしている場合>

```
# /tmp/ExpIUF62 /home/intra/expwww2
```

5. Web サーバーソフトウェアのサービスを起動します。

c Web サーバーの実行環境の設定

Web サーバーに「駅すばあと」を実行するための設定を追加してください。

< Apacheの場合 >

1. エイリアス名を設定してください。

```
Alias /expwww2 "（インストールしたディレクトリ）"
```

<例 /usr/local/expwww2 にインストールした場合>

```
Alias /expwww2 "/usr/local/expwww2"
```

2. AddHandler を使用して cgi-script ハンドラを設定してください。

```
AddHandler cgi-script .cgi
```

3. ディレクトリのアクセス制限を設定してください。

```
<Directory "（インストールしたディレクトリ）">
```

<例 /usr/local/expwww2 にインストールした場合（2.4 系）>

```
<Directory "/usr/local/expwww2">
```

```
    Require all granted
```

```
    AllowOverride all
```

```
    Options ExecCGI
```

```
    AddDefaultCharset off
```

```
</Directory>
```

4. 追加アクセス制限設定

AccessFileName の記述が存在している場合、下記のようにになっていることを確認してください。

```
AccessFileName .htaccess
```

※バージョンアップ時は、.htaccess の内容を保持します。

d 「駅すばあと」の起動と終了

1. 起動

ブラウザから下記の URL へアクセスしてください。

[プロトコル名] : // [ドメイン名] (: [ポート番号]) / [エイリアス名] / exp.cgi

アクセス例)

http://abc.cdef.co.jp/expwww2/exp.cgi

http://abc.cdef.co.jp:8080/expwww2/exp.cgi

http://192.168.0.2/expwww2/exp.cgi

※ 上記以外の起動方法は動作保証致しかねますのでご了承ください。

また、正しく接続出来ない場合には、SELinux などの強制アクセス制御機能の設定をご確認ください。

インラインフレームのリンクを使って、フレーム内から本製品をご利用することはサポート対象外になります。

2. 終了

ブラウザを閉じるか他のページを表示すると終了します。

e 「駅すばあと」のアンインストール

1. Web サーバーの実行環境の削除

インストール時に指定したサーバーの設定を削除してください。

2. 「駅すばあと」の削除

RPM パッケージにてインストールした場合には以下のコマンドを実行して削除してください。

```
# rpm -e expwww2
```

tar 形式でインストールした場合には、インストール先のディレクトリをすべて削除してください。

f Web サーバーの実行環境の移行

【移行元環境での操作】

1. Web サーバーのサービスを停止します。
2. expv2.conf および user ディレクトリにあるファイルを /tmp/exptmp ディレクトリに退避します。
/usr/sbin/exp-backup2
- ※ インストール先のディレクトリに /usr/local/expwww2 以外を指定した場合、引数にインストール先のパスを与えて実行してください。
3. 「e 「駅すばあと」のアンインストール」を実行してください。

【移行先環境での操作】

< RPM 形式で移行する場合 >

4. CD-ROM をマウントします。
mount /mnt/cdrom
5. 「a 初回インストール」の< RPM 形式でインストールする場合 >の 2. を実行してください。
6. 移行元環境での操作 2. で作成した /tmp/exptmp ディレクトリを、任意の方法で移行先環境の /tmp/exptmp へコピーし、以下のコマンドでアクセス権を設定します。
chmod -R 777 /tmp/exptmp
7. 初期設定をします。
/usr/sbin/exp-setup2
- ※ 環境設定ファイルの引き継ぎの問い合わせに対しては “y” を入力し、移行先環境のホスト名とエイリアス名を設定して下さい。
- ※ インストール先のディレクトリに /usr/local/expwww2 以外を指定した場合、引数にインストール先のパスを与えて実行してください。
8. CD-ROM をアンマウントします。
umount /mnt/cdrom

< tar 形式で移行する場合 >

4. 「a 初回インストール」の< tar 形式でインストールする場合 >の 1. から 7. を実行してください。
5. 移行元環境での操作 2. で作成した /tmp/exptmp ディレクトリを、任意の方法で移行先環境の /tmp/exptmp へコピーし、以下のコマンドでアクセス権を設定します。
chmod -R 777 /tmp/exptmp
6. 初期設定をします。
/usr/sbin/exp-setup2
- ※ 環境設定ファイルの引き継ぎの問い合わせに対しては “y” を入力し、移行先環境のホスト名とエイリアス名を設定して下さい。
- ※ インストール先のディレクトリに /usr/local/expwww2 以外を指定した場合、引数にインストール先のパスを与えて実行してください。

ツール先のパスを与えて実行してください。

5 管理画面について

「駅すばあと」では管理画面にて各種設定ができます。

1. 操作部にある「管理者用サイト」アイコンをクリックします。



＜「管理者用サイト」のアイコン＞

2. パスワードを入力します。
初期パスワードは「admin_intra」です。
3. 環境設定を選択します。
4. 必要な項目を任意に設定します。
環境設定の詳細内容については管理者用サイトのヘルプをご参照ください。

※ 「環境設定」画面よりパスワードが設定されます。インストール後、速やかにパスワードを再設定してください。
パスワードは暗号化されてテキストファイルに保存されております。直接テキストファイルを編集されても正しく動作いたしませんのでご注意ください。
パスワードを初期化されたい場合は、「駅すばあと」をインストールしたフォルダにある、expv2.conf 内の「adm_password」の項目をブランクにしてください。
初期パスワードでログインが可能になります。

＜管理画面の起動と終了＞

1. 起動
 - ・「管理者用サイト」アイコンを表示している場合
「駅すばあと」を起動し、操作部にある「管理者用サイト」アイコンをクリックして、パスワードを入力した後管理者用サイトへログインしてください。
 - ・「管理者用サイト」アイコンを非表示にしている場合
http:// インストールしたサーバー名 / 設定したエイリアス名 /
admin.html?val_appname=exp.cgi
2. 終了
ブラウザを閉じるか「終了／駅すばあと起動」をクリックしてください。

6 Cookie を利用しない場合について

URL をフルドメインで設定しない場合、Cookie の利用ができなくなります。
このため、クライアントの利用環境の情報を保持できなくなり、以下のような動作となりますのでご注意ください。

1. 前回入力した出発地・目的地の駅名が再表示されません。
2. 探索条件は、起動されるたびに環境設定ファイルの情報が設定されます。
3. 起動時の路線図は、環境設定ファイルで指定された地域が表示されます。
4. 全機能版と簡易版の切り替えをした際は、入力したデータは引き継がれません。

7 サポートについて

ホームページ「駅すぱあと」サポート

お問い合わせ前にサポートサイト内「よくあるご質問（FAQ）」をご利用ください。

URL <https://support.ekispert.jp>

ユーザーサポートセンター

インストール方法や、操作方法などについてのご質問は下記までお願いします。

E-Mail support@val.co.jp

TEL 03-5373-3522

（受付時間 月～金 9:30～12:00 / 13:00～17:00 ※祝日・当社指定日を除く）

FAX 03-6683-2507

- ・ お問い合わせの際には、下記の情報を併せてご連絡していただきますと、より迅速に回答できます。

情報例 1 「駅すぱあと」の動作についてご質問がある場合	
駅すぱあとのバージョン	2021/12 第 1 版
サーバー OS	Red Hat Enterprise Linux Server 8.3
CPU	Intel(R) Celeron(R) G4900 CPU @ 3.10GHz
メモリ	16GB RAM
HDD の使用状況	120GB（使用） / 512GB（全体）
Web サーバーソフトウェア	Apache 2.4
※）クライアントの Web ブラウザ	Microsoft Edge

※ クライアントの動作に関してお問い合わせがある場合には、こちらの情報もご連絡ください。

情報例 2 CGI インターフェースの仕様についてご質問がある場合	
駅すぱあとのバージョン	2021/12 第 1 版
サーバー OS	Red Hat Enterprise Linux Server 8.3
CGI インターフェース名	cgi_diaassign2_h

なお、「駅すぱあとイントラネット Ver. 2」のサポートに関しては、サーバー管理者の方を対象とさせていただきます。

調査内容によっては、「駅すぱあとイントラネット Ver. 2」へのリクエストおよびレスポンスパラメータが必要となります。そのため、上記を含む Web サーバーのログのご提供をお願いする場合がございます。

また、バージョンに表示されている月から 1 年以上が経過したものに関しましては、製品の性質上サポートいたしかねますのであらかじめご容赦ください。

（ただし、バージョンアップのお申し込みやユーザー登録方法は除く）

本プログラム及びマニュアルは無断で複製することを禁止します。
仕様は予告なしに変更する場合があります。

© Val Laboratory Corporation

※本マニュアルに記載されているプログラム名、CPU 名、製品名は、
一般に各メーカーの登録商標及び商標です。